

東由利村報

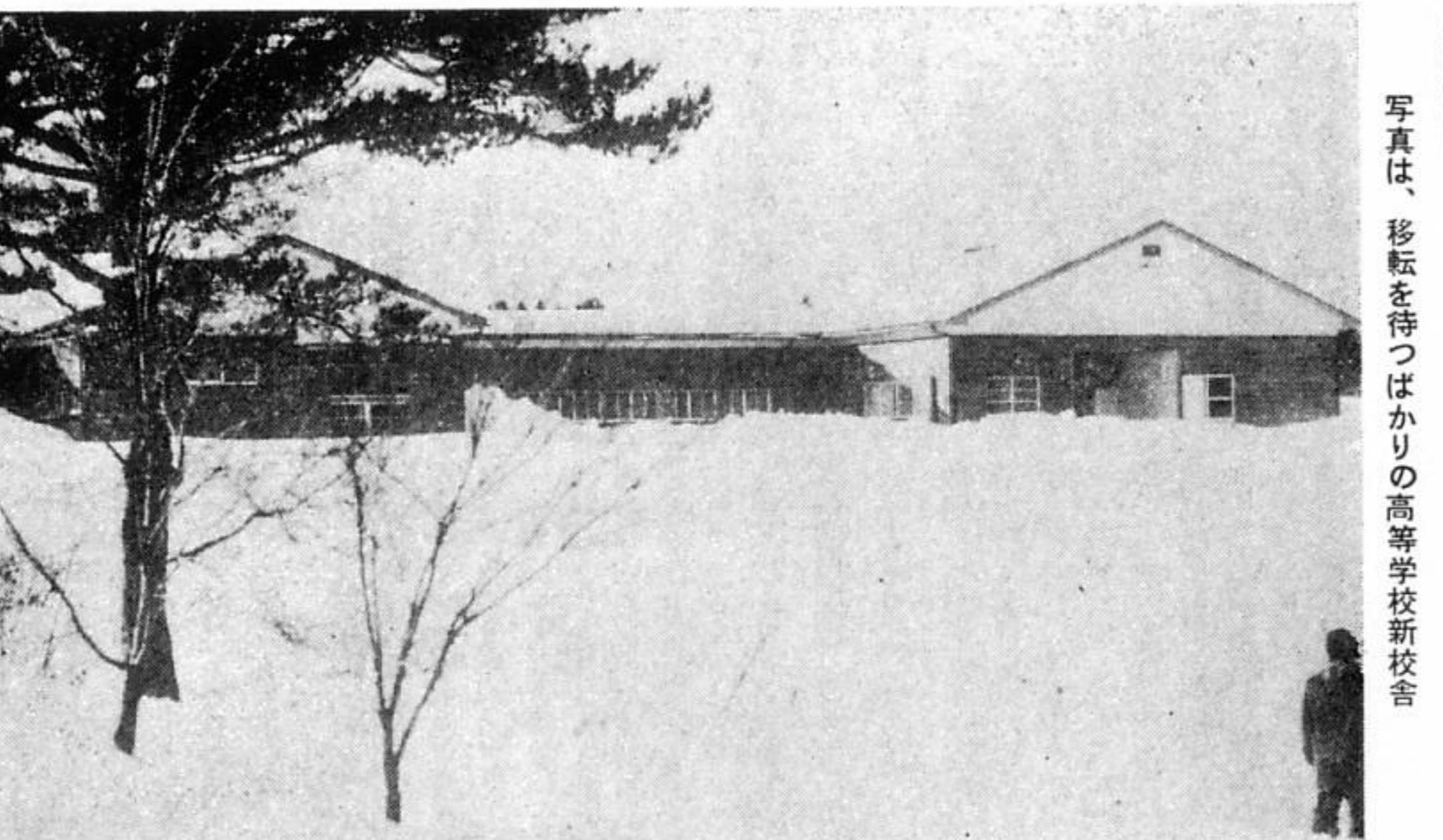
No. 140 1969・3・1

発行 秋田県東由利村役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(1部8円) 昭和42年7月21日第三種郵便物認可

□ 村の現況 □

財政規模	
一般会計	199,858千円
特別会計	51,045千円
内訳	国保 48,145千円 黒診 725千円 簡水 1,042千円 玉財 1,133千円
世帯数	1,611世帯
人口	7,684人
男	3,778人
女	3,906人
前月に比し世帯は2の減	
人口は3の増	

総面積	148.5km ²	100%
田畠	11.67ha	7.8%
煙草	2.63ha	1.9%
宅地	1.01ha	0.7%
山林	88.06ha	59.2%
原野	39.44ha	26.6%
その他	5.39ha	3.8%



まず小松村長から、新年度の村一般会計予算の概算規模は、二億円台に達するだろう。また、既定の事実である東由利中学校の建設予算是、別に補正予算として組む。など

の基本的な説明が行なわれた。ついで小松総務課長から、新年度予算の要点として、歳入では、①住民税は地方税制の改定が予定されており、前年度当初予算に比し百五十万円ていど減収が予想され、従つて村税全体での伸びは、ほとんど期待できない。

②自動車取得税は県内での取扱い台数が急激に増すと考えられないで、税収の伸びも

入では、①自動車取得税は地方税制の改定が予定されており、前年度当初予算に比し百五十万円ていど減収が予想され、従つて村税全体での伸びは、ほとんど期待できない。

歳出では、①継続的なものを見きわめ、そうでないものは

見きわめ、それでだけ事業量が縮小したのでは、と心配している。

・一割増であるが、本村の場合は、これまでの経験率からして一八〇一九割の伸びにならう。

約五九割の増になるが、これ

は、林業構造改善事業が動きだしてからである。なお中学校新

建の予算は、附属的なものは

当初予算に組まれるものもあるが、建築費は補正予算に計上したい。

本村としては経費の軽減上あ

りがたいがそれだけ事業量が縮小したのでは、と心配している。

また、町村事業に対する県単独補助の制度も廃止されるので、この分は町村財政にマ

イナスになる。

期待がうすい。③地方交付税は国の予算では前年度比二三

・一割増であるが、本村の場合は、これまでの経験率からして一八〇一九割の伸びにならう。

約五九割の増になるが、これ

は、林業構造改善事業が動きだしてからである。なお中学校新

建の予算は、附属的なものは

当初予算に組まれるものもあるが、建築費は補正予算に計上したい。

本村としては経費の軽減上あ

りがたいがそれだけ事業量が縮小したのでは、と心配している。

また、町村事業に対する県

単独補助の制度も廃止されるので、この分は町村財政にマ

イナスになる。

新予算一億円台に

議員協議会

中学校建設は別予算

期待がうすい。③地方交付税は国の予算では前年度比二三・一割増であるが、本村の場合は、これまでの経験率からして一八〇一九割の伸びにならう。

約五九割の増になるが、これ

は、林業構造改善事業が動きだしてからである。なお中学校新

建の予算は、附属的なものは

当初予算に組まれるものもあるが、建築費は補正予算に計上したい。

本村としては経費の軽減上あ

りがたいがそれだけ事業量が縮小したのでは、と心配している。

また、町村事業に対する県

単独補助の制度も廃止されるので、この分は町村財政にマ

イナスになる。

期待がうすい。③地方交付税は前の予算審議にあたるわけであり、新たな視点からの声も予想されようという背景のもとで、2月10日、これに対する意見をきく議員協議会が開かれた。また、協議会では、このほか①農業対策審議会の運営はどうするか②財政調整基金に対する認識③国の農業政策に対し村政はどうあればよいか④村の畜産振興について⑤山村振興指定村の指定を受けるべきか⑥定期制高校が新校舎へ移転後旧校舎を何に利用するかなどの意見が交わされた。

耕地面積	11.67ha	7.8%
田畠	2.63ha	1.9%
煙草	1.01ha	0.7%
宅地	88.06ha	59.2%
山林	39.44ha	26.6%
原野	5.39ha	3.8%

耕地面積	148.5km ²	100%
田畠	11.67ha	7.8%
煙草	2.63ha	1.9%
宅地	1.01ha	0.7%
山林	88.06ha	59.2%
原野	39.44ha	26.6%
その他	5.39ha	3.8%

44年度の予算編成が、いま急ピッチで進められている。これは議会にとつては改選後はつの予算審議にあたるわけであり、新たな視点からの声も予想されようという背景のもとで、2月10日、これに対する意見をきく議員協議会が開かれた。また、協議会では、このほか①農業対策審議会の運営はどうするか②財政調整基金に対する認識③国の農業政策に対し村政はどうあればよいか④村の畜産振興について⑤山村振興指定村の指定を受けるべきか⑥定期制高校が新校舎へ移転後旧校舎を何に利用するかなどの意見が交わされた。

44年度の予算編成が、いま急ピッチで進められている。これは議会にとつては改選後はつの予算審議にあたるわけであり、新たな視点からの声も予想されようという背景のもとで、2月10日、これに対する意見をきく議員協議会が開かれた。また、協議会では、このほか①農業対策審議会の運営はどうするか②財政調整基金に対する認識③国の農業政策に対し村政はどうあればよいか④村の畜産振興について⑤山村振興指定村の指定を受けるべきか⑥定期制高校が新校舎へ移転後旧校舎を何に利用するかなどの意見が交わされた。

基金投入めぐつて論

東由利中学建設費に

小野作右工門議員 本村の財政調整基金を中学校建設費に向けた意向らしいが、基金は不時の災害に備える目的でなかつたか。むりをしても基金は基金として残しておくべきだ。

小松村長 年々、貨幣価値が下っていく社会情勢の中で、預金といふかたちの基金に問題がある。また、この基金は不時の災害に備える目的でなかつたか。むりをしても基金は基金として残しておくべきだ。

(設置の目的) 第一条、村財政の健全化を図り、長期的にわたる財源の調査を行なうため、東由利村財政調整基金(以下「基金」という)を設置する。

(積立て) 第二条、毎年基金として積立てる額

(処分) 第五条、次の各号の一に該当する場合

